

## 令和2年度第3師団追悼式 ～152柱の御霊を追悼～

第3師団（師団長 山根陸将）は、令和2年10月24日（土）、千僧駐屯地（兵庫県伊丹市）において、令和2年度第3師団追悼式を挙行了した。

今年度の追悼式は、任務遂行中に殉職された152柱の功績を称え、その冥福を祈念するとともに、事に臨んでは危険を顧みず、身をもって職務を遂行し得るよう現職隊員の感化を図ることを目的に実施された。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、御遺族をはじめ、部内来賓、隷下各部隊長及び最先任上級曹長などの参列に留め、規模を大幅に縮小した中での実施となったが、終始厳粛に執り行なわれた。

執行官 山根陸将は、殉職された御霊に対し哀悼の意を表するとともに「私どもは、我が国の安寧を願ってこられた御霊の崇高な御遺志を受け継ぎ、国家安全保障の最後の砦として、一人ひとりがその原点に立ち返り、全身全霊をもってその職責を全うし、使命を果たしていく決意を、ここに改めてお誓い申し上げます。」と追悼の辞を述べた。

追悼式の最後には、殉職者の御霊を悼む弔銃の銃声が会場に響き渡った。

# 令和2年度第3師団追悼式



追悼式会場全景



執行官による顕彰碑への献花



執行官追悼の辞



名簿奉納



殉職隊員之霊に対する着剣捧げ銃